



弱溶剤2液ハイクラス屋根用塗料  
スーパーシャネツサーモ

# お客様の大切なお家を守る

お家を守る『塗膜』にダメージを与えるのは

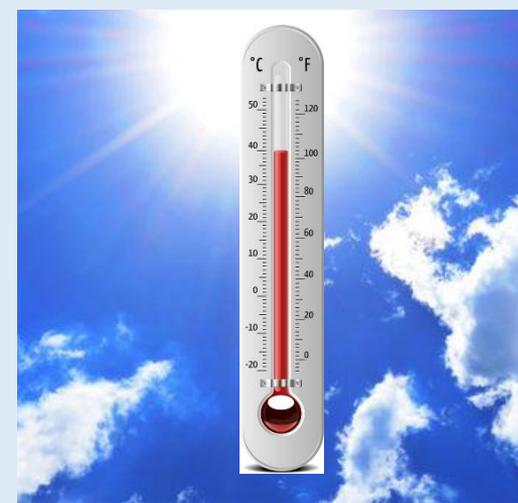
太陽光(紫外線)



雨(水)



熱



これらの劣化要因に対抗できる塗料を選ぶべきです

# ご存知ですか？屋根の過酷な環境について



同じ建物でも、屋根と外壁の環境は全く違います！

太陽光(紫外線)

屋根は外壁と比べて

**3**倍

雨(水)

屋根は外壁と比べて

**多**

熱

屋根は外壁と比べて

**1.5**倍

思った以上に屋根の環境は**苛酷**そのものです

# 屋根塗料は根拠を持ってしっかり選択！

## 屋根の保護機能を喪失した場合の起こりうるリスク

### 苔・藻・カビ



ご存知  
ですか

築10年以上の屋根には苔・藻・カビが発生していることが多く、放置すると常に湿気を帯びてる状態になり下地劣化が加速します。

ここが  
ポイント!

屋根の塗膜は7年経過した頃から劣化し始めています。メンテナンスでは高耐候性・高遮熱性の塗料での保護塗装が重要です。

### 雨漏り



ご存知  
ですか

塗膜劣化が進んでいる場合が多く、本来の防水機能が大幅に低下してます。その場合、素地自体を痛め、雨漏りが発生する場合も。

ここが  
ポイント!

屋根下地自体の防水機能の回復が最優先事項です。タスペーサー等を活用したしっかりとした雨じまいが必要です。

# 当社がお薦めするハイクラス屋根用塗料

屋根の保護は「高耐候性」・「高遮熱性」が必須です

スーパーシャネツサーモF

フッ素

売れて  
います!

耐用年数  
16～20年

遮熱

特殊  
無機顔料



厳しい屋根環境にも  
安心の高耐候性

スーパーシャネツサーモSi

シリコン

耐用年数  
13～16年

遮熱

特殊  
無機顔料



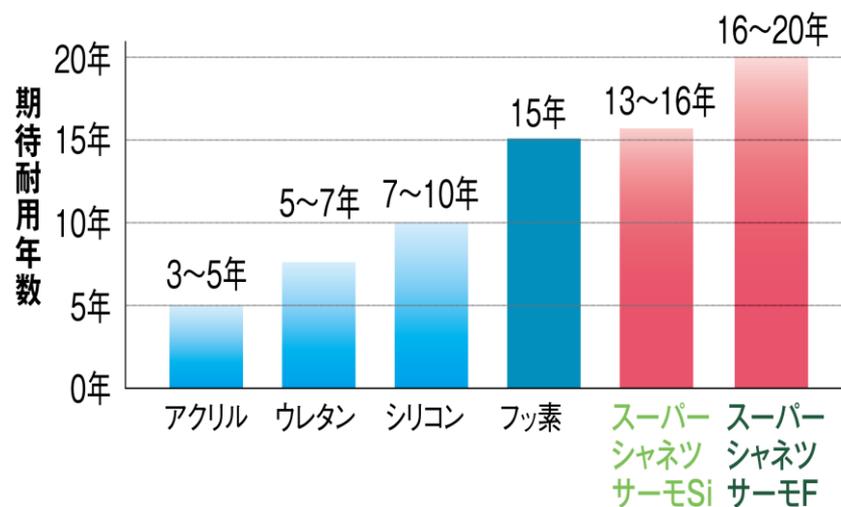
高耐候性とコストの  
絶妙なバランス

# 特徴その①：塗装がすごく長持ち

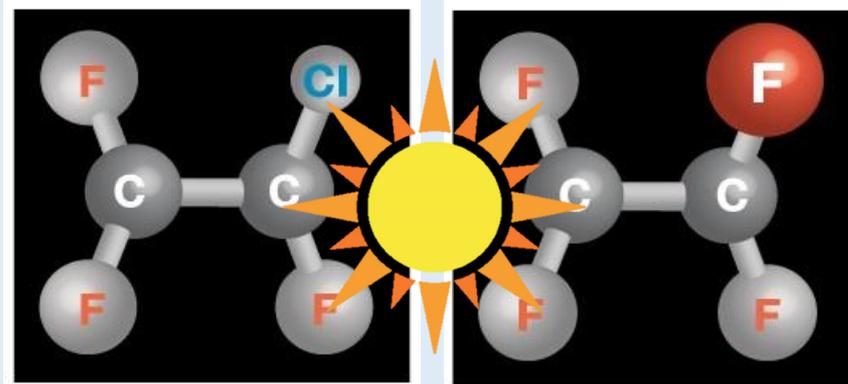
## 高耐候性

従来のフッ素塗料・シリコン塗料を凌ぐ**高い耐候性**を実現

■耐候性比較



サーモFは耐候性に優れた「4Fフッ素樹脂」を採用  
塩素結合をフッ素結合に置き換えて性能向上



従来のフッ素樹脂 (327KJ/mol) < 紫外線 (411KJ/mol) < 4Fフッ素樹脂 (489KJ/mol)

建物の中でも、屋根は紫外線(塗料分子を破壊する高いエネルギー)や風雨などの過酷な環境に曝されている分、**外壁以上に劣化しやすい箇所**と言えます。

**劣化に強い高グレードな塗料を選択することが重要です**

# 特徴その②：蓄熱を軽減し室内を快適に

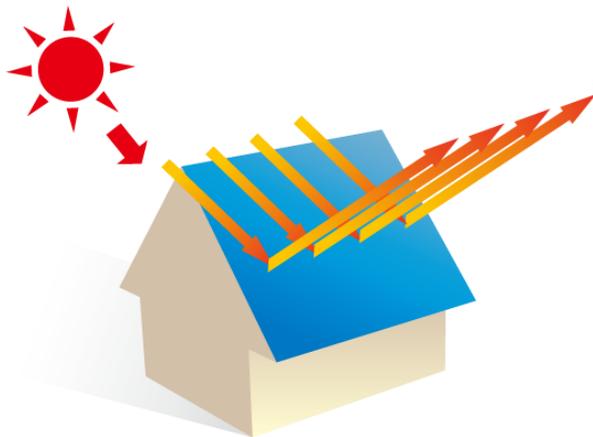
## 遮熱性

高い日射反射率で**快適さ**を追求しながら屋根下地を**熱劣化**からも守る



通常の塗料

近赤外線の影響により、塗膜が劣化。



スーパーシャネツサーモ

近赤外線を効果的に反射するため、塗膜の劣化を抑制。

快適



保護

ご存知  
ですか

昼間に屋根材の表面温度が上昇すると蓄熱してしまい、夜になっても温度が下がりにくく蒸し蒸しした不快な暑さが続きます。特に2階は影響度大です。

ここが  
ポイント!

温度上昇の原因である近赤外線を遮熱塗料で反射して、屋根材の表面温度をできるだけ上げないことが効果的です。

# 特徴その③：顔料に業界最新技術を導入

特殊無機顔料

従来の黒系色は**熱くなるのが普通！**  
当塗料は黒系色でも**熱くなりにくい！**

一般塗料・従来の遮熱顔料



黒系色は近赤外線を

**強く吸収**

屋根表面の

**温度上昇**

つまり

従来の黒系色は塗膜表面温度が上昇してしまうのは**色の特性**上しょうがないとされてきました。

特殊無機顔料



黒系色も近赤外線を

**高反射！**

屋根表面の

**温度抑制**

つまり

業界最新技術により、黒系色でも塗膜表面温度が**上昇しにくい**をついに**実現**しました！！

## 特殊無機顔料

# 色飛びが少なくキレイが続く

### 有機顔料の 紫外線照射実験

上: 紫外線照射

下: 紫外線未照射

有機顔料は紫外線で  
耐候性が弱い色から  
破壊され変色する



### 顔料とは

塗料を様々な色味に  
着色する原料

### 有機顔料とは

石油から構成される合成顔料。  
一般的に耐候性が低く、色飛び  
が発生しやすい傾向がある

### 無機顔料とは

「鉱物顔料」とも言われ、耐候性に  
優れており、色飛びが少ない傾向  
がある

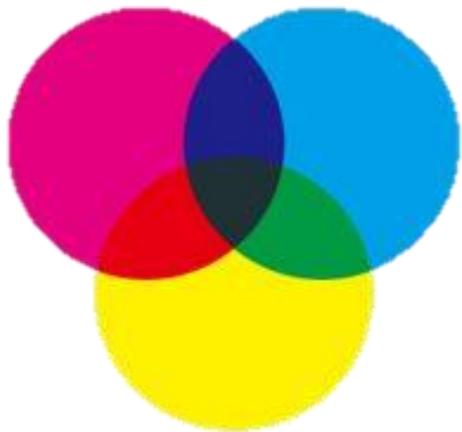
▶ シャネツサーモの顔料は「無機顔料」

※ 顔料によっては、外壁の『美観性』が台無しに

## 特殊無機顔料

# 屋根色の定番[黒]が全く違う！

### 一般的な遮熱顔料



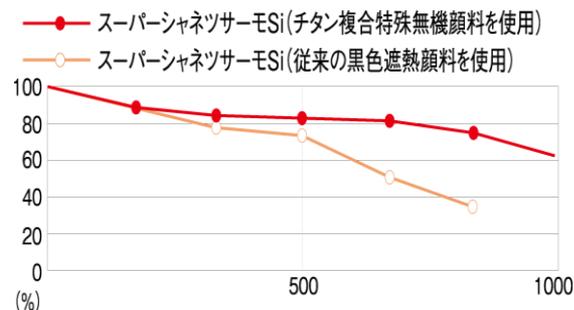
一般的な遮熱顔料は、黒色を調色する際、有機顔料3色を混色して色を作ります。色によって耐候性に差があるため黄→赤→青の順番で色飛びが発生します

### 特殊無機顔料



当塗料の遮熱顔料は、黒色を調色する際、無機顔料の黒色単色で色を作ります。混色ではないため、色飛びが発生しにくいのが特徴です。発色も「漆黒の黒」です。

### ■促進耐候性試験(スーパーUV)



### 無機顔料もっと詳しく

市場に出回る大半の塗料が有機顔料での混合調色です。コストが安くなるというメリットはありますが耐候性が気になります。過酷な環境の屋根こそ、技術進歩の結晶である「新技術」が投入された「特殊無機顔料」にこだわるべきです。

全10色は無機顔料の含有量が95%以上だから安心

# 特殊無機顔料

# 日射反射率と耐候性の高さに注目

近赤外線域  
日射反射率

70%

60%

50%

40%

30%

20%

10%



比べてください！  
同じ黒系塗料でも反射効果の差は歴然！！

## 全日射とは

太陽光の波長のうち、紫外線・可視光線・近赤外線すべての波長域における波長の反射率。

## 近赤外線とは

太陽光の波長のうち、近赤外線の反射率。  
温度上昇に関係するのはこちらであり注目すべき。

## 顔料の違い

一般的に、  
有機顔料は明度の関係で日射反射率が高いが、耐候性が低い傾向にある。  
無機顔料は日射反射率が低いが、耐候性は高い傾向にある。

大切なのは、顔料の近赤外線反射率と耐候性のバランス

# 特徴その⑤：専用下塗りで施工品質を向上

## ご存知ですか 屋根塗装には慎重さが必要です



### 一般的な屋根の状況

#### ◎面によって劣化程度が異なる

同じ建物の屋根でも降り注ぐ紫外線量によって南面・北面などで程度は異なる。総じて南面の劣化がひどい場合が多い。

#### ◎同じ面でも劣化程度が異なる

黒い部分は既存旧塗膜  
・下塗りの下地への吸い込みは軽い  
白い部分は下地素地が露出  
・下塗りの下地への吸い込みは激しい  
・1度塗りでとまらない場合が多い  
・上塗りに影響を及ぼし劣化要因の1つ

### 詳細

下地 高圧洗浄後のカラーベスト

築年数 築23年

状態 劣化が大きい



## 屋根塗装の品質低下に繋がるリスクはなに？

### 浸透力不足

下塗りが下地に深く食いつき適正な膜厚確保が必須条件。商品によっては浸透力が不足している場合も…

### 塗布回数ミス

劣化が極端に激しい箇所は、仕様通りの塗布回数であっても下地内に吸い込まれてしまい膜厚不足の場合も

### 人為的ミス

下塗りが透明の場合、どこまで塗布したか、吸い込みが本当にとまったかを正しく目視しきれないことが…

屋根塗料も**違い**をしっかりと把握してから選択しましょう

# 特徴その⑤：専用下塗りで施工品質を向上

## 専用下塗り

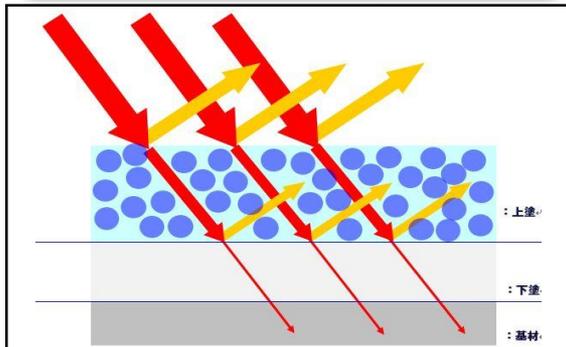
本来の上塗り機能が十分に発揮できる下地環境を構築するための専用下塗り

### 施工時の視認性



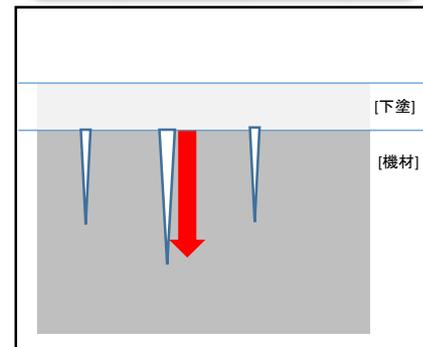
■下塗りは白かグレーだから塗り忘れがゼロに

### 下塗りにも遮熱機能



■上塗り材を透過した近赤外線を下塗りが反射

### 高い浸透力



■浸透力が高い弱溶剤タイプ

### 劣化部分2回塗りの効果



スコープ拡大写真

- ✓ 下塗り1回塗り
- ✓ 黒い部分はまだ吸い込みがある状態



スコープ拡大写真

- ✓ 下塗り2回塗り
- ✓ 黒い部分がなく隠蔽している

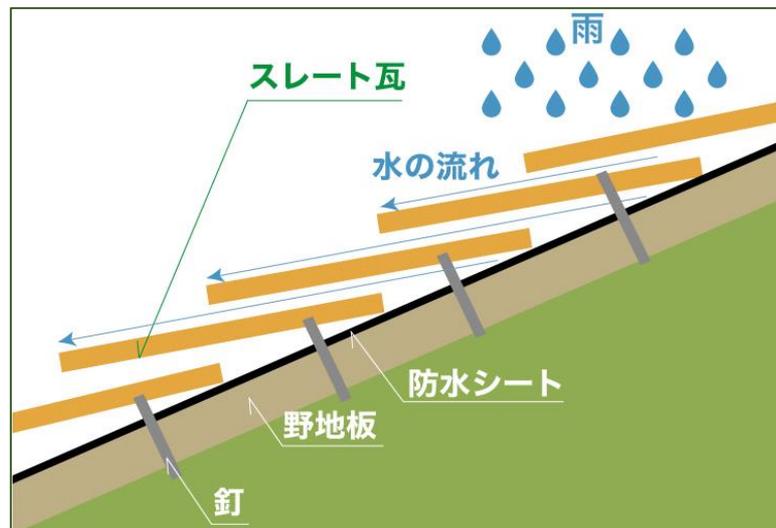
■劣化が激しい部分は2回塗り、より丈夫な塗膜を形成



# スレート屋根からの雨漏りを防ぐために

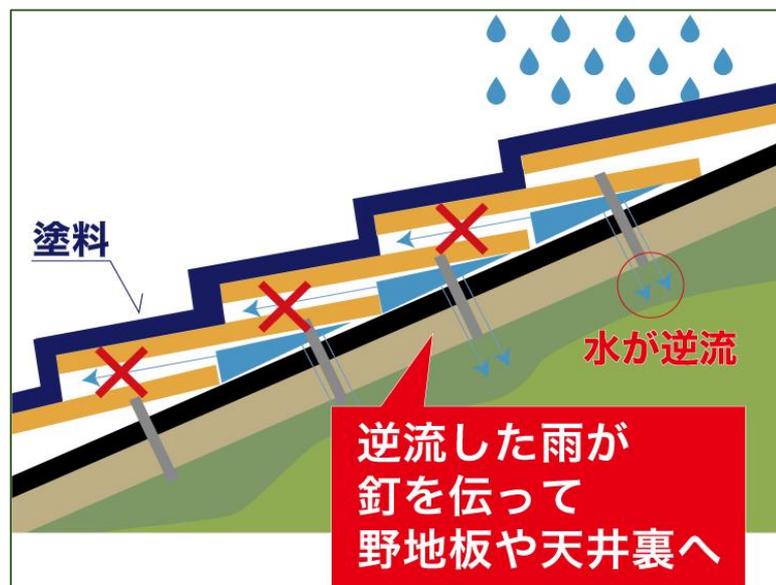
## I スレート屋根の構造

スレート瓦は、瓦と瓦のタテのつなぎ目から入った雨水を下の瓦が受け止め、**瓦の重なり部分の隙間から排出**することにより、野地板や屋根裏への、水の浸入を防ぎます。



## I 屋根の塗り替えで雨水の排出口がなくなることも

塗り替えしたとき、**瓦の重なり部分に塗料が溜まって**場合、**雨水の排水口がなくなり**水が毛細管現象で**逆流**してしまうことも。そのため、溜まった塗料に切り込みを入れ、雨水の**排水口を作る「縁切り」**という作業を行う必要があります。



# スレート屋根からの雨漏りを防ぐために

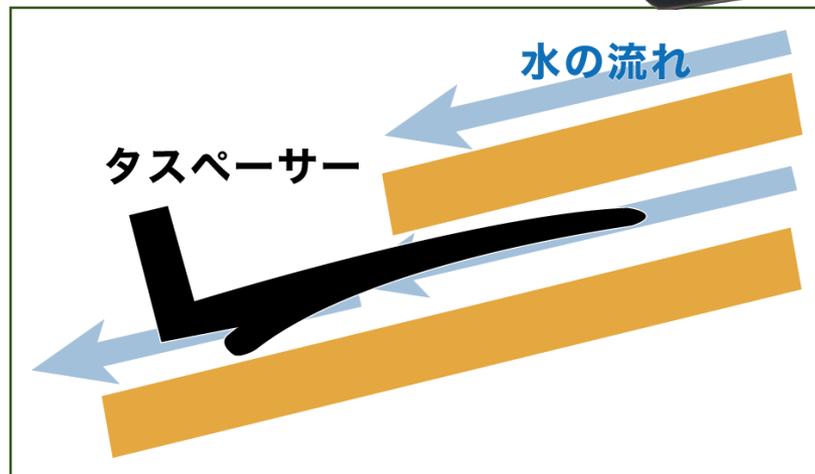
## 縁切りは『タスペーサー』がお奨め！



### メリット①

## 排水性を確保し、下地の腐朽を防ぐ

タスペーサーは瓦と瓦の重なり部分に挿入する機材です。これにより**重なり部分に隙間を確保**することができ、塗料の溜まりにより発生する野地板や屋根裏への**雨水の侵入を防ぎます**。



### メリット②

## 塗膜のキズ・汚れ付きを防ぐ

従来の縁切りは塗装後に皮スキやカッターを使って行っていたため、塗膜表面にキズや汚れを発生させることがありました。対してタスペーサーは差込む作業だけであるため、**キズや汚れの発生を防ぎ美しく仕上げる**ことが可能です。

